

# グローバルにいがた



from NY

ブレークダンスを踊るミイラ、巨大な空飛ぶスケルトン(骸骨)、ひげを生やした天使…。ニューヨーク(NY)マンハッタンの街の通りは10月31日、アピール上手なお化けたちに占領されました。「Halloween(ハロウィーン)」です。見物する人たちであふれる歩道。ニューヨーク市警(NYPD)が安全を管理し、パレードするお化けたちと見物客を規制します。

この日は、デパートやお店の店員さんも仮装して対応するところも多い(店員さんがお化けと化す)。郊外では、暗くなってくると仮装した子供たちが大人に付き



大畠  
みどりさん

||柏崎市出身||

添われて、家々を回ります。口々に「Trick or treat!(お菓子をくれないといたずらするぞ)」と言いながら。そして家に帰ったら『戦果』を見せ合ってパーティーです。

ことはハロウィーン前の思わず雪。私が住んでいるニュージャ

## パーティーが目白押し

ージー(NJ)も広範囲で停電になるハプニングがありました。アメリカではこれからイベントが続き、パーティーのシーズンです。

11月の第4木曜日は感謝祭。年に一度必ず家族が集う日です。日本でしたら、お盆かお正月でしょうか。かしこまったくご招待と感じさせない温かい気遣いで、周りの

人たちも誘います。感謝祭の日は年中無休のスーパーマーケットですら、お休みか早じまい。道路は走る車もほとんどなく、閑散とします。

料理はターキー(七面鳥)をオーブンで丸焼きしたものと、サイドディッシュのマッシュポテトがお

決まりです。お母さんの手料理や、持ち寄った料理で夜更けまで話が尽きることはありません。一夜明けると一年で一番のセール日。

ターキーでエネルギーを満たした人々は、目指すデパート、アウトレットショップへと出動します。

12月はクリスマス。クリスマスツリーはもちろん、家ごとクリス

マスのディスプレーをして、お店同士やお隣同士競い合います。そして年末年始。日本のお正月を迎えるような、厳かな行事はあまり見当たりません。年が変わるカウントダウンをして、「新年おめでとう!」と周りの人たちと抱き合ってお祝いしますが、2日からは、さあ仕事。すぐに平常通りの一日が始まります。新年の祝いはあっさりと過ぎるのでした。日本のようなのんびりとした雰囲気も、お年玉もありません。残念。(大畠さんはNYで医療事務の仕事をしています)

新潟日報社の国際交流拠点NY事務所などを通じ、海外で暮らす本県関係者に毎月、現地の様子を紹介してもらいます。



ハロウィーンで仮装して、近所の家を回る子供たち